

町道対策

大方橋川線に落石防止を

町道全体の中で検討 / 町長



あぜち 議員
かずひろ 一弘

問う。

答

下村町長

松田 大方まちづくり課長

真剣に検討したいと思っているが、基本的に町道の管理は町の責任において実施している。

各路線整備は、町道全体の事業の中で緊急性を考慮しながら対応していく。

問

町道加持橋川線の峠の切抜きから加持寄り20mの所は、幅員2m80cmあるが、路肩が柔らかく負荷がかかり過ぎるとつえるような状態になっている。危険を防止するために舗装が必要と思う。

舗装区間も20mであり、経費も余りかからないと考える。町としてしっかりとした舗装を施工すべきではないか

答

松田 大方まちづくり課長

町全体の管理の状況のみで判断し検討して行く。

外灯設置

外灯設置を問う

設置に向けて努力する

/ 大方まちづくり課長

問

田の口バイパスの外灯は田の口小学校も待ち望んでいる。また、近くの福祉施設の入居者や関係者及び上田の口の住民も同様に外灯設置に大きな期待を寄せている。

答

夜道が暗いと心配も多く、犯罪も起こりかねない。これからはだんだんと日が短くなるので、早く設置ができないか。外灯があると犯罪防止に役立つと思うが、町の考えを問う。

答

松田 大方まちづくり課長

県から「設置に向けて予算要求をしていく」と聞いているが、設置期間はまだ明確ではない。ただ、設置要望3カ所を一度に施工することはできないと考えている。

問

町道大方橋川線を約30m入ったところに落石があり、大きな石が落ちてきている。ブロック工事で山崩れ止めを30mほど設置してあるが、落石防止の防護柵がない。そのため、落石が発生し危険な状況になっている。

また上部には、数多くの岩石があり、その岩石の根元をイノシシが掘って今にも落ちてきそうな不安定な状態になっている。現場を見れば、危険を感じるので、下の道路は通ることができない。

早急に対応をしなければならぬと思うが、町の考えを

道路整備

加持橋川線に舗装

管理状況を見て検討 / 町長



橋川住民による道普請